

(特非) 環境パートナーシップいわて

廃食油の資源化活動を通じて、三陸の復興および豊かで持続可能性のある地域社会をめざすプロジェクト

イベントの 延べ参加者数	1,709人
イベント参加者 の満足度	75%
活動の全体目標 に対する達成度	35%



自分が出したてんぶら油の旅、エコツアー

◆成果と工夫したポイント

- **成果**
 - 家庭からの廃食油の回収は、大船渡市内5カ所で開始した。
 - 全県の製造所で廃食油回収が280KLから390KLまで増えた。
 - 農業機械分野でBDFを使用する農業法人農家を増やす(1法人→2法人)。
- **工夫** 地元のNPOの協力を得て、一緒に取り組んだ。また、県・市・隣接町の協力が得られ、懇談会が定着した。

課題

- 震災後のコミュニティ力の低下、構造的な石油に依存した生活。
- BDF(バイオディーゼル燃料)出口の拡大。

活動内容

気仙地区でのBDF製造拠点の再開へ向け、実態調査を実施。地域住民向けのエコツアー「使用済みてんぶら油が車や農業で使われるまで」、「ていたんそエコッキング」(3回)、子ども向け講座「科学で楽しもう」(3回)を開催。廃食油が地域資源であることを周知するため、BDFタスク委員会を毎月開催。2016BDFフォーラムの開催(2016/3/25開催)。県内のBDF精製施設にアンケート調査を実施。



「脱石油依存」農業の実践現場の見学

今後の課題

懸案だったBDF製造を担うパートナーが見つかった。今後は、理解を深めていただきながらも着実に進めたい。地域コミュニティを元気にする活動として、地元の皆さんのアイデアも生かした活動としていきたい。